

POSレジのデータを分析し、スピード経営を実現

可視化

データ連携

申請事業者：株式会社ハंक・ディーシー（宮崎市）
業種：飲食業

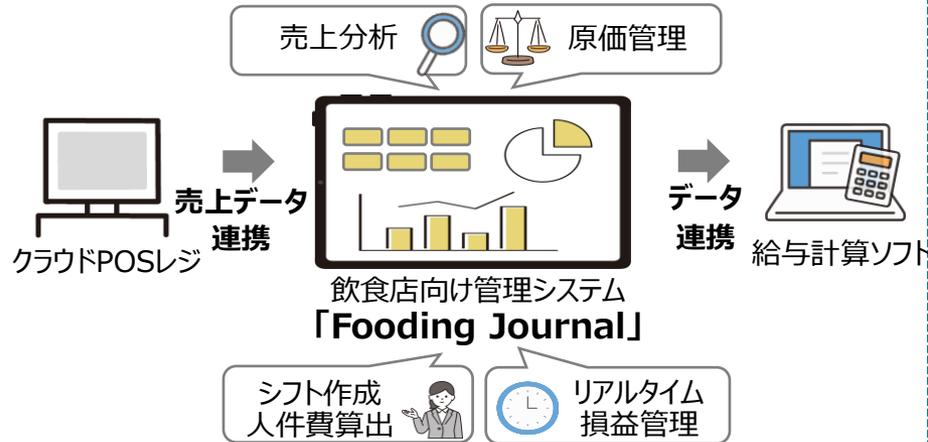
従業員数：140名
設立：2005年



売上データを管理システムに自動で連携し、リアルタイムでの分析を実現！

取組の概要

導入部門：レストラン
 導入業務：経営管理業務
 導入目的：売上データの集計・分析作業の改善
 導入技術：クラウドPOSレジ「スマレジ」
 導入手法：スマレジの売上データを、飲食店向け管理システム「Fooding Journal」に自動で連携。さらに、Fooding Journal内で、勤怠データや仕入データと合わせて分析を行う。
 導入費用：¥ 4,759千円（税抜）



取組の背景

- 抱えていた問題点
 - ①運営している複数の店舗間で、異なるPOSレジのシステムを導入しているため、店舗間の売上比較に手間がかかっていた。
 - ②POSレジに蓄積された売上データを有効に活用できておらず、戦略的な経営管理ができていなかった。
- 解決に向けた課題設定等
 - ①全店舗のシステムを「スマレジ」に統一することで、管理システムに売上データが自動で連携され、データ集計が自動化。
 - ②売上データと勤怠データ、仕入データを組み合わせて分析を行うことで、リアルタイムでの損益確認が可能となり、迅速な意思決定につながる。

取組の成果

・売上データの分析にかかる時間を、33%軽減
 （本部業務）
 POSデータを集計し、グラフで可視化する時間
 15時間/月 → 10時間/月